

農業体験の田植えに参加して

横浜市 竹田(ニノシ) (上真砂出身)

去る五月二十七日、新緑かがやく季節を迎え、新幹線とほくほく線を利用し、

一路上越へと向かいました。湯ったり村に到着後、「市民の森」を案内していただきました。この森は、市の水源地であり里山保全の為にNPOが中心となり、市民と共に活動されています。湧水池の周辺には、クロサンショウウオが生息し、その他にはウサギ、クマそして以前ここを訪れた時、ブナ林の林道でタヌキの足跡が残っていたのを覚えています。懇親会では、市の企画課、農林水産課の担当者、NPO法人、そして田植えの指導をして下さる曾我さんをはじめ、当日お手伝い下さる皆様と懇談しました。曾我さんの所では、安全を考慮され無化学・減農薬でコシヒカリを栽培され、はさ掛けによるおいしいお米づくりをされています。棚田で収穫されるお米は、昼夜の寒

暖の差が大きいため、旨みがあると言われています。

翌二十八日、田植え日和となり、曾我さんの棚田で田植えが始まりました。田んぼは、すく平らに均され、土の上には碁盤の目のしるしがあり、初めての者にとっては、苗を一定の間隔で植えることができ、ほっとしました。苗分けに手間取りながら植えましたが、しっかりと地に根を張って生育してくれることを願っています。澄んだ空気と、山の清水に恵まれ、加えて曾我さんが丹精こめてくださいますので安心です。昼食は、棚田産のお米で作られたおにぎりをご馳走になりましたが、とてもおいしかったです。その後、曾我さんの粟林でフキ採りをし、そのフキをお土産に持ち帰り、我が家の食卓で山里の味をかみしめました。稲穂が実る秋には、稲刈りに来ます。そ

の頃には、粟も実り、小学生も訪れ、粟林は一層にぎやかになっていると思います。

今回のこの農業体験でお世話になりました皆様へ感謝します。湯ったり村の職員の皆様にはおいしい会席料理でもなしていただきありがとうございました。

